

政策評価調書 目標年度(27年度)実績

政策名 子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～	政策コード I-1	関係部局名 福祉保健部、商工労働部
---	--------------	----------------------

【Ⅰ. 政策の概要】

子育てに係る経済的負担の軽減、悩みや不安の相談体制の強化、男性の子育て参画の推進など、社会全体で子育てを支える環境の整備や、児童虐待の未然防止、ひとり親家庭や障がい児へのきめ細かな支援、母子保健や小児医療提供体制の整備などを進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備	概ね達成	A
2	きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援	達成	A
3	安心して子どもを生み育てられる保健・医療の充実	概ね達成	B

【Ⅴ. 政策の達成状況と評価】

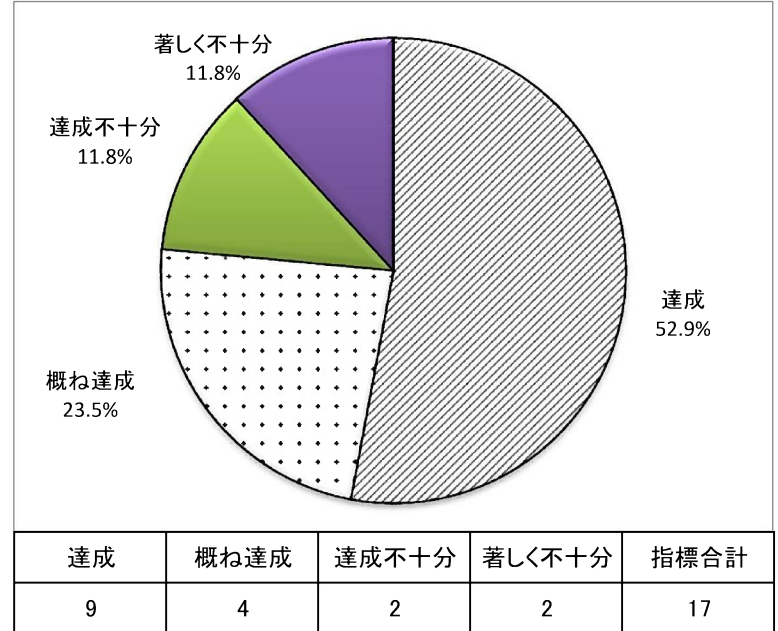
「次代を担う子どもを社会全体で支える環境の整備」では、多様なニーズに対応した保育サービスの拡充などを実施したことにより、一時預かりや病児・病後児保育等の実施施設数の増加など、多くの指標で目標を概ね達成した。また「きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援」についても、里親委託の積極的推進による里親委託率の上昇や、ひとり親家庭に対するきめ細かな就業支援による就業実績率の上昇など、目標値を上回る実績を残した。

一方、「安心して子どもを生み育てられる保健・医療の充実」については、右記のとおり「周産期死亡率」が目標を達成できなかったものの、残る2つの指標は達成度100%以上となった。また指標関係以外の観点では、これまでの子ども医療費や不妊治療費の拡充などを通じ、安心して子どもを生み育てられる環境を整備することができた。

政策全体の評価としては、子ども・子育て支援新制度の開始など国においても大きく制度が変わる中で、子どもと子育て世帯の多様なニーズに対応した施策を展開し、「地域における子育て支援」や、「子育ても仕事しやすい環境づくり」等、子育て満足度を一定程度高めることができた。

今後は、「おおいた子ども・子育て応援プラン(第3期計画)」に基づき、引き続き国・市町村と連携しながら、一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりを推進し、子育て満足度日本一の実現に向けた取組を強化していく。

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
ファミリー・サポート・センター事業実施市町村数	72.2%
<著しく不十分となった理由>	
センター事務局の運営を委託できる団体が無いことや援助会員の確保など、実施体制の調整がつかない市町村があり目標値に届かなかったものの、28年度以降、順次実施予定である。 ※各市町村のニーズ調査に基づき策定した「子ども・子育て応援プラン(第3期)」における27年度目標は14市町(達成率92.9%)	
周産期死亡率(後期死産と早期新生児の死亡率)	66.7%
<著しく不十分となった理由>	
出生数千人あたりという指標の性質上、出生数が9千程度の大分県では単年の死亡数により率が大きく変動してしまうため、平成27年の自然死産が前年に比べ増加したことにより目標値を達成できなかった。	